

令和4年度第2次補正予算行政事業レビューシート							内閣官房		
事業名	我が国企業の海外事業環境整備推進経費			担当部局庁	内閣官房副長官補		作成責任者		
事業開始年度	令和4年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	副長官補室(内政・外政)		参事官 松本加代		
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)				関係する計画、通知等					
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国企業の海外での事業展開が、展開先国が抱える課題解決に資する形となるよう、事業環境の整備を行うための調査を行うことを通じ、我が国の経済成長及び展開先の課題解決につなげていくことを目的とする。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	日本企業の海外進出先国が抱える経済・社会的課題や日本企業の現地の事業活動における課題等について調査を実施するとともに、事業環境整備に資する検討を行う。								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
		補正予算	-	-	-	166			
		令和4年度第2次補正予算	-	-	-	166			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	0	0	0	166			
	執行額	-	-	-	-				
	執行率(%)	-	-	-	-				
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!				
令和4年度第2次補正予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度第2次補正予算	主な増減理由						
	庁費	166							
	計	166							
活動内容(アクティビティ)	民間事業者等に対し、内外の文献およびヒアリング調査を実施するとともに、検討結果をまとめることを委託する。								
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	展開先の課題解決や既存施策の改善に関する検討の整理、我が国企業の事業展開上の課題の明確化。	調査の実施件数	活動実績	件	-	-	-	-	-
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	調査経費/調査の実施件数		単位当たりコスト	百万円	-	-	-	-	
		計算式	百万円/件		-	-	-	-	

定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由及び定量的な成果目標	定量的な目標が設定できない理由		定性的な成果目標と令和元年～令和3年度の達成状況・実績						
		政策の検討にあたり必要な情報の調査であり、定量的成果目標に馴染まないため。		展開先国の課題解決にも資する我が国企業の事業環境整備に係る政策の検討において調査が活用される。						
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
			実績	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-	

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	我が国企業の海外展開が現地の課題解決に資するかたちで行われることは、海外における長期的な日本企業の事業拡大等につながるものであり、我が国の経済成長に資する。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	展開先国における事業環境整備の課題への対応は省庁横断的な調整が必要であり、調査の過程で政府間でのやりとりも想定されることから国の事業として実施する必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	我が国企業の海外事業活動は、リスクの多様化や脱炭素への取り組みなど大きな変化に直面しており、調査を活かした政策立案の必要性は高い。省庁横断的な観点からの調査は必要かつ適切。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	事業番号	事業名	

備考

--

関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成23年度	-	-	-
平成24年度	-	-	-
平成25年度	-	-	-
平成26年度	-	-	-
平成27年度	-	-	-
平成28年度	-	-	-
平成29年度	-	-	-
平成30年度	-	-	-
令和元年度			
令和2年度			
令和3年度			

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

内閣官房
194百万円

委託調査等

民間事業者等

{ 我が国企業の海外事業環境整備推進経費 }